



令和3年5月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

土肥でアカモク養殖の試み

近年、土肥地区ではテングサやヒジキの生育が低調で漁獲量が減少傾向にあることから、伊豆漁協土肥支所は静岡市の加工業者「おいしい産業株式会社」と協力してアカモクの試験養殖を開始しました。

1月に「フィッシングパーク土肥（土肥支所が運営する海上釣り堀）」近傍に10メートルの養殖ロープを張り、20cm間隔で1か所当たり50個体のアカモク種苗を付け、3か月後の4月15日に収穫作業を行いました。アカモクは1株あたり3~4mと十分に生長しており、約60kgが収穫できました。

今回の試験養殖では、おいしい産業株式会社が生産した種苗を使用しましたが、今後は土肥支所自ら種苗を生産し、それを使ってアカモクを養殖する体制作りを進めるとのことです。



←試験養殖の様子（収穫時）

アカモクを収穫する様子→



漁業者によるキンメダイ標識放流

伊豆東部一本釣協議会では、キンメダイ資源保護のために、定期的に標識放流を行っています。4月19日には伊東、川奈、富戸地区の5隻が初島沖と富戸沖漁場にて、計249尾に標識をつけて放流しました。放流した漁場での操業を自粛した場合に、キンメダイがどこに移動するのか等を調査するため、今後も引き続き標識放流を行っていく予定です。



キンメダイへの標識付けの様子

解説：伊豆東部一本釣協議会は、伊東・熱海地区の一本釣漁業者組織で、伊豆半島東岸の漁場で資源管理を行っています

定置網ブリの入網本格化

伊豆東岸定置網では4月上旬頃から、ぶり、わらさの入網が本格化し、伊東魚市場に水揚げされました。主に川奈四そう張、谷津漁場に入網しており、多い時は1日に20トン近く水揚げされます。一般的にブリの旬は冬とされており、今年の入網は例年（2月頃）より遅かったのですが、体長（尾叉長）は約75cm、体重は約8kgで、非常に脂乗りの良い魚体でした。スーパー等にも並びますので、見かけた際はぜひ味わってみてください。



水揚げされたブリ

5月の予定 ●キンメダイの親魚採捕を行います ●天草の作柄予測を発表します ●イセエビ漁獲物の測定を行います ●熱海地区でヒラメ中間育成が始まります ●キンメダイの標識放流が行われます ●5月11・13日に伊豆地或栽培推進協議会が開催されます ●5月28日に田子でカサゴの放流が行われます ●5月28日に県定置協会総会が行われます

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。